



世界人口白書日本語抜粋版完成・ナイロビサミット開催記念
リプロダクティブ・ヘルス/ライツの25年
『残された課題』と私たちにできること

日時：
 2019年12月18日(水)
 13:00 - 14:30

会場：
 参議院議員会館 1階101

2019年11月12日から14日までナイロビで開かれたナイロビサミット「ICPD（国際人口開発会議）+25」。テーマは「世界人口白書2019」と同じく『残された課題』。日本からナイロビサミットに参加した方や、世界人口白書の制作にかかわった方を招き、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの25年と現在・未来、そして私たちにできることについて議論します。

【プログラム】

開会の辞 増子輝彦 参議院議員 国際人口問題議員懇談会副会長
 イントロダクション 佐藤摩利子 UNFPA東京事務所長

『残された課題』とは。世界人口白書2019より
 阿藤誠 国立社会保障・人口問題研究所名誉所長

パネル・ディスカッション

カイロからナイロビ、行動計画に見るリプロダクティブ・ヘルスとライツをいかに実現するか？ 私たちのコミットメント。

黄川田仁志 衆議院議員
 高尾 美穂 産婦人科医
 鷲見 学 外務省 国際協力局 国際保健政策室長
 勝部まゆみ ジョイセフ事務局長
 ファシリテーター 佐藤摩利子 UNFPA東京事務所長

閉会の辞 楠本修 アジア人口・開発協会（APDA）事務局長



共催：国連人口基金、公益財団法人アジア人口・開発協会、公益財団法人ジョイセフ

お申し込みはこちらより→<https://forms.gle/yEeCyPJaLdLG2Ksf6>

定員：100名（先着順・参加無料）

